



SYUPPIN®

 Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

2026年3月期 第3四半期
決算補足資料



目次

- 1. 2026年3月期第3四半期 決算概要 P.2**
- 2. Appendix P.11**



1. 2026年3月期第3四半期 決算概要

2026年3月期第3四半期 決算ハイライト



- 3Q単体：修正後計画比で、売上高:99.6%、営業利益：122.5%と計画を上回る
上期での一時的な落ち込みから回復基調となっております

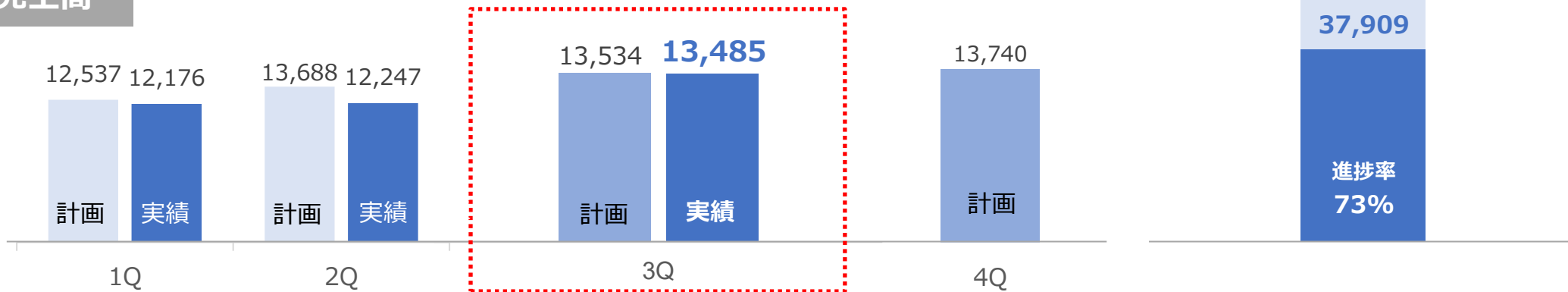
計画・実績 四半期推移

通期計画
3Q進捗率

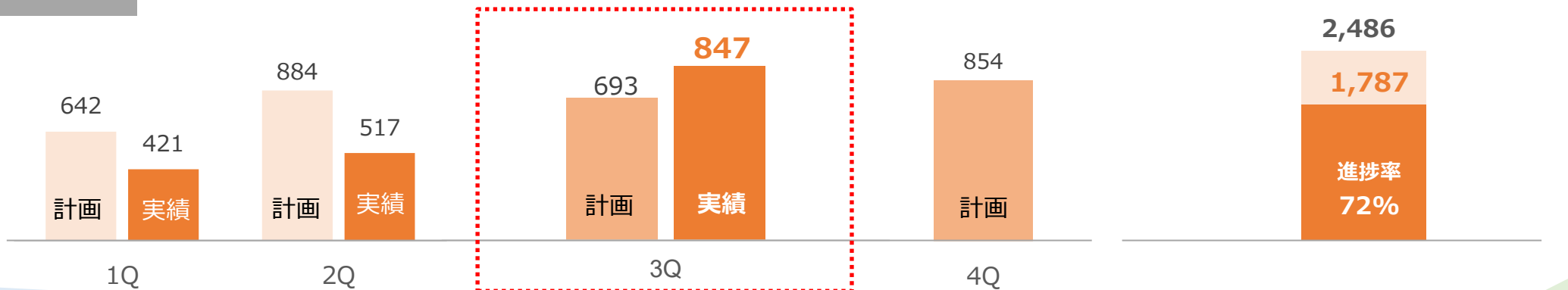
(単位：百万円)

(単位：百万円)

売上高



営業利益



2026年3月期第3四半期（累計） 損益計算書（PL）



- 修正後計画比で、売上高は若干未達となったものの、販売管理費が計画を下回ったことにより、各利益段階においては計画を上回る

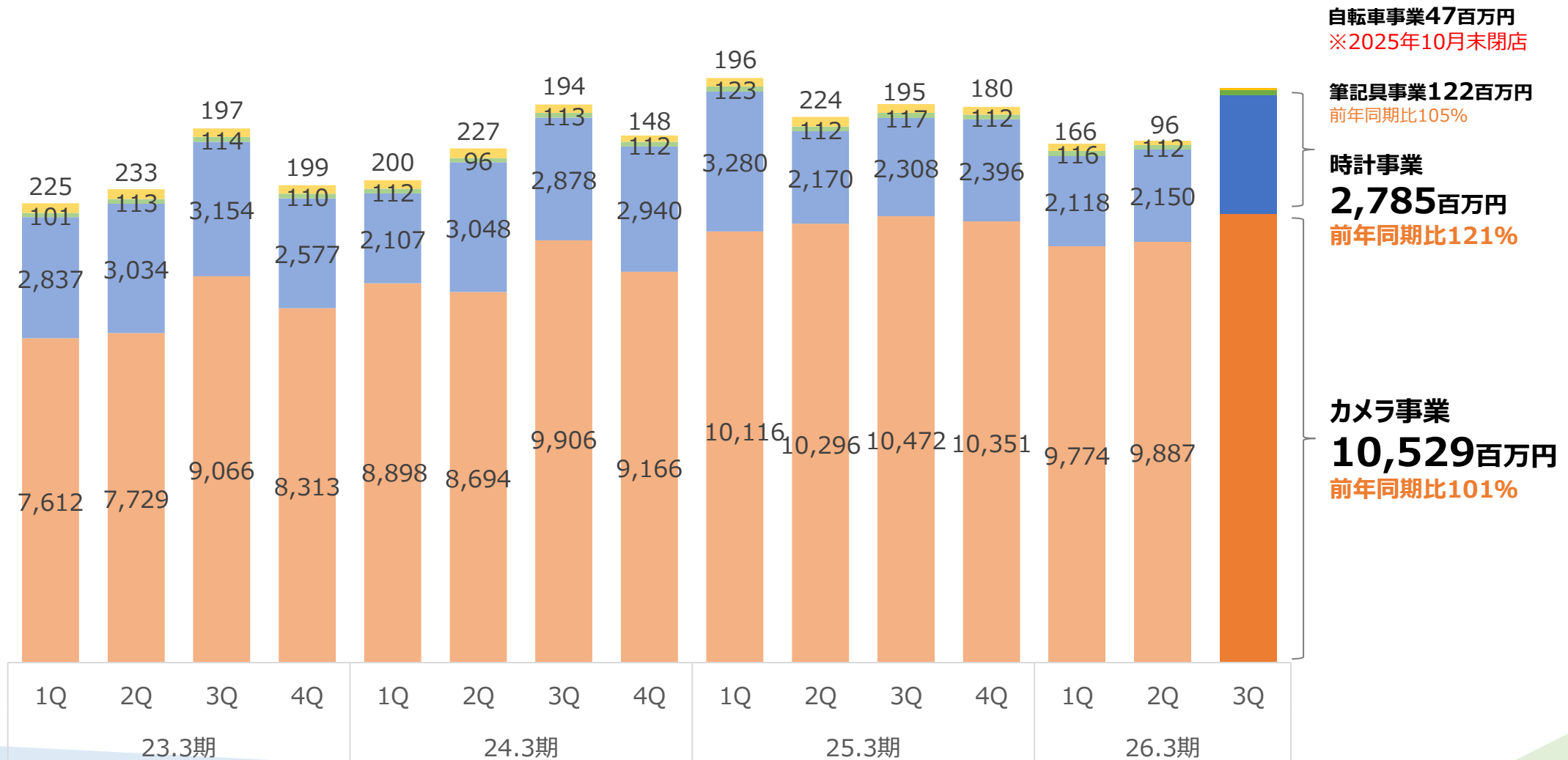
（単位：百万円）

	25.3期 3Q累計		26.3期 3Q累計				
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	前年比	計画	計画比
売上高	39,616	—	37,909	—	95.7%	37,958	99.9%
売上総利益	7,317	18.5%	7,094	18.7%	97.0%	7,043	100.7%
販売管理費	4,664	11.8%	5,307	14.0%	113.8%	5,411	98.1%
営業利益	2,653	6.7%	1,787	4.7%	67.4%	1,632	109.5%
経常利益	2,634	6.6%	1,762	4.6%	66.9%	1,614	109.2%
当期純利益	1,514	3.8%	1,198	3.2%	79.1%	1,075	111.4%

売上高推移（事業別）



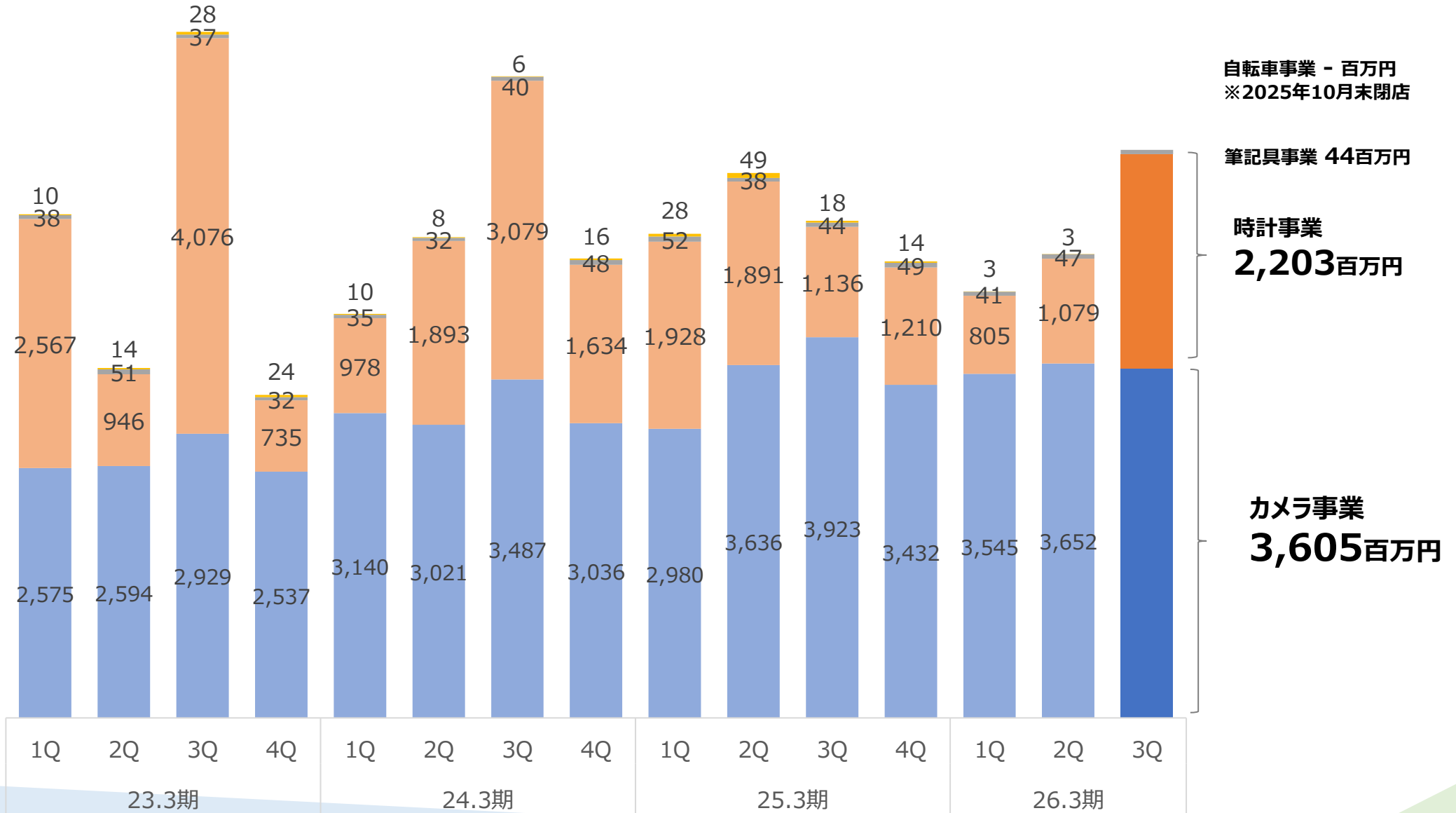
- カメラ事業：12月に主力となる新製品の発売により、買い替え需要が促進され新品・中古ともに堅調に推移
- 時計事業：免税売上高の伸長により前年同期を上回る



買取金額推移（事業別）



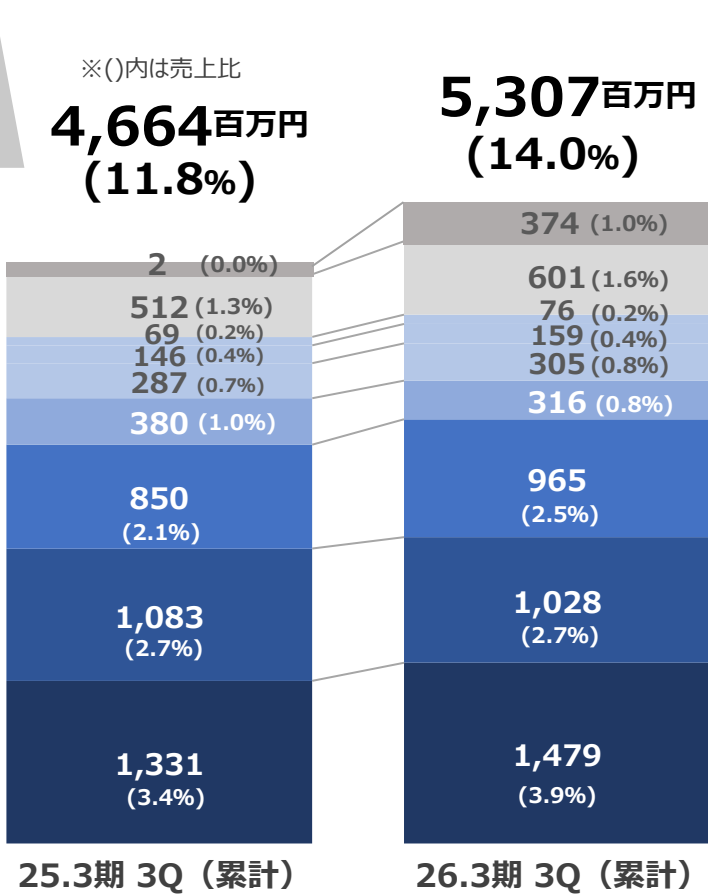
- カメラ事業：AIMDの稼働、「買い替えサイクル」の促進ともに順調
- 時計事業：ラインナップ拡充の為、高価格帯商品を中心とした仕入れを強化中



販売管理費推移

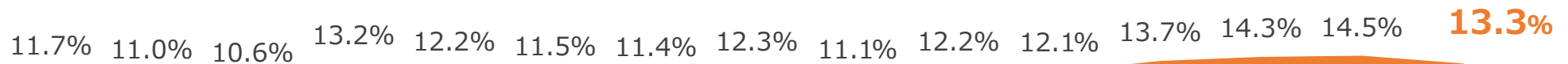


販売促進費(買取・下取見積りUP、株主優待券等)および従業員のベースアップにより、費用増加



販売管理費計	前年比増減率 (売上比)	前年比増減額	
販売管理費計	2.2pt	642百万円	
運賃	1.0pt	372百万円	● 会計基準の変更に伴う、計上区分変更による増加
その他	0.3pt	88百万円	
広告宣伝費	0.0pt	7百万円	
減価償却費	0.1pt	13百万円	
地代家賃	0.1pt	17百万円	
業務委託費(システム費)	▲0.1pt	▲63百万円	
販売促進費	0.4pt	114百万円	● 買取・下取見積りUP、株主優待券等
支払手数料	▲0.0pt	▲55百万円	● 売上減少による連動
人件費	0.5pt	147百万円	● 従業員のベースアップによる増加

販管費率推移 (四半期単体)

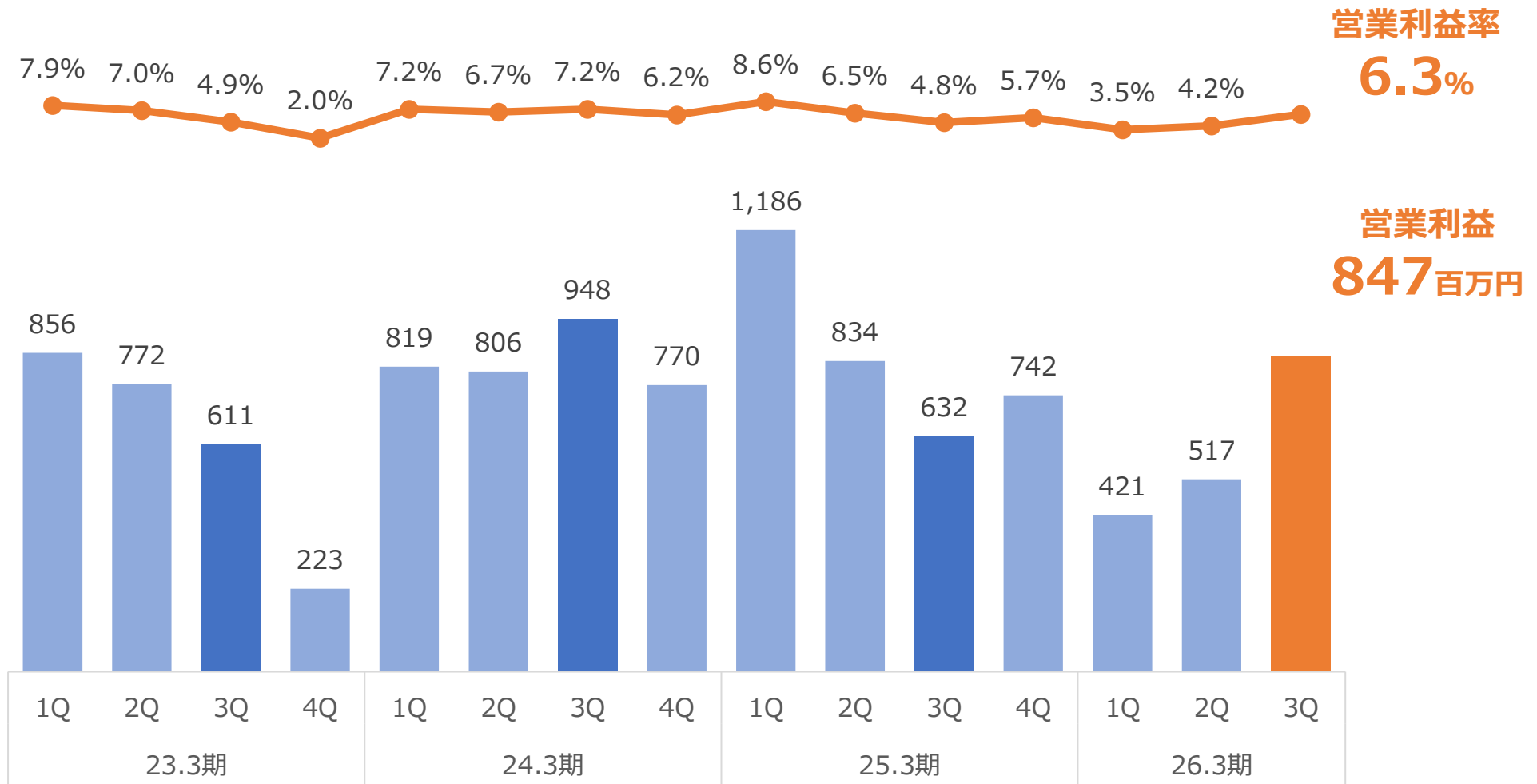


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
23.3期				24.3期				25.3期				26.3期		

営業利益・営業利益率推移



売上高・売上総利益の伸長により、販管費増を吸収し、営業利益は前年同期比で増加



2026年3月期第3四半期 貸借対照表 (BS)



価値ある商品への在庫投資を継続、新基幹システムの開発費、
自己株式の取得及び消却により純資産は減少





(単位：百万円)

	25.3期末	26.3期 3Q末	
		実績	増減
流動資産	15,733	16,418	684
└現預金	1,733	2,024	290
└商品	9,969	10,568	599
固定資産	2,355	3,083	727
└ソフトウェア	315	220	▲95
└ソフトウェア仮勘定	513	1,305	791
資産合計	18,088	19,501	1,412
流動負債	6,270	8,025	1,755
固定負債	1,650	1,707	57
負債合計	7,920	9,733	1,812
純資産合計	10,168	9,767	▲400
負債・純資産合計	18,088	19,501	1,412

2026年3月期第3四半期 事業別概況（累計）



(単位：百万円)

※()内は売上構成比	販売チャネル	25.3期3Q	26.3期		トピックス
			3Q	前年同期比	
 カメラ事業 (79.6%)	・EC売上	25,924	25,722	99.2%	<ul style="list-style-type: none"> ● EC売上高は堅調に推移 ● 営業利益は1Qから増加基調で推移
	・店舗売上	4,961	4,468	90.1%	
	売上計	30,885	30,191	97.8%	
	営業利益	3,450	3,128	90.7%	
 時計事業 (18.6%)	・EC売上	3,374	3,003	89.0%	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上高減少および販売管理費増で営業利益は引き続き厳しい状況
	・店舗売上	4,385	4,051	92.4%	
	売上計	7,759	7,054	90.9%	
	営業利益	350	130	37.2%	
 筆記具事業 (0.9%)	・EC売上	255	246	96.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上高、営業利益ともに前年並みに推移
	・店舗売上	98	105	107.3%	
	売上計	354	351	99.4%	
	営業利益	52	49	95.0%	
 自転車事業 (0.8%)	・EC売上	570	282	49.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 2025年10月末のECサイト・店舗閉店
	・店舗売上	46	28	61.5%	
	売上計	617	311	50.5%	
	営業利益	18	▲47	—	
合計	・EC売上	30,124	29,255	97.1%	<ul style="list-style-type: none"> ● EC売上高、全体の売上高は前年を下回る
	・店舗売上	9,491	8,654	91.2%	
	売上計	39,616	37,909	95.7%	

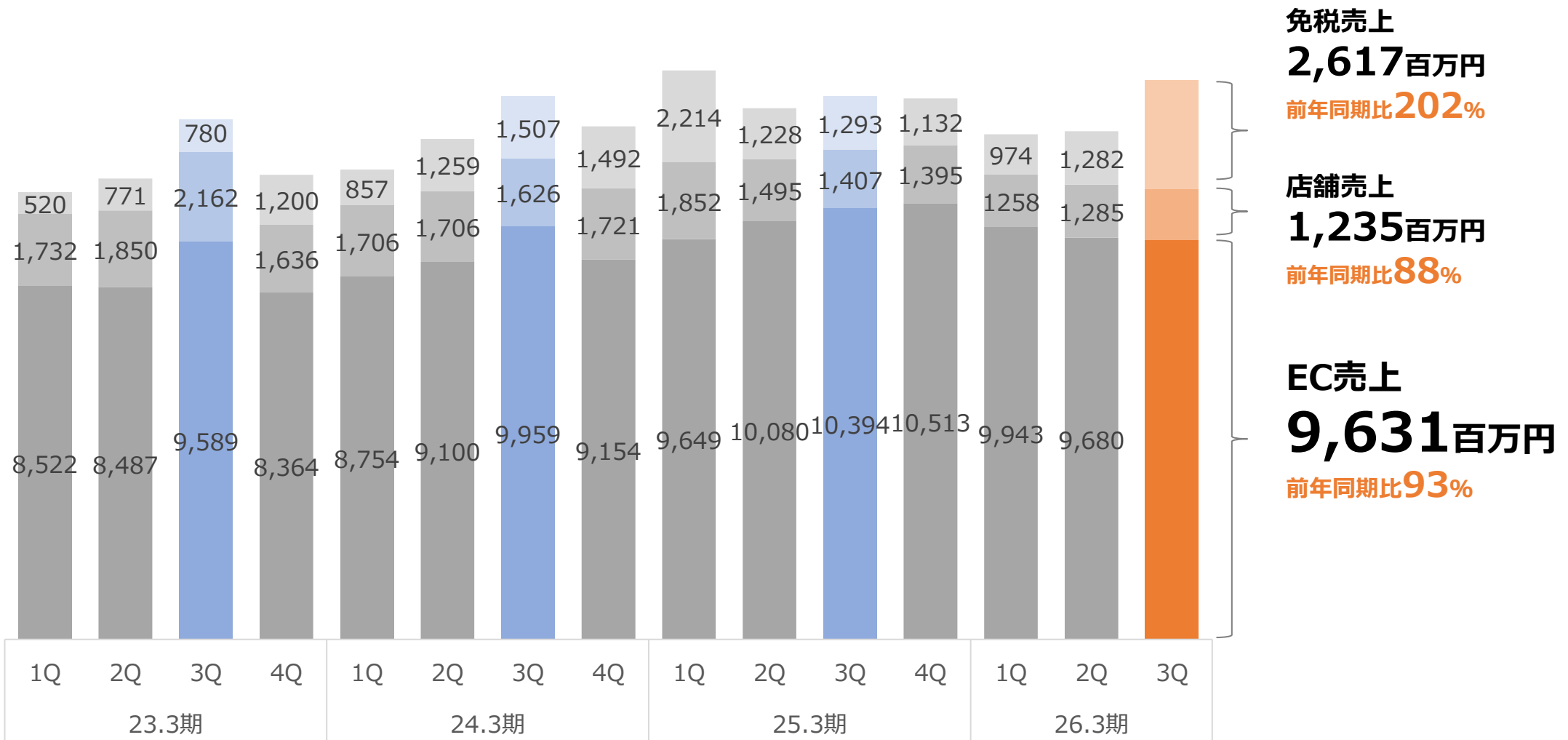


2. Appendix

売上高推移（販売チャネル別・四半期）



- EC売上高：12月商戦はカメラ事業は好調に推移したものの、全体では前年を下回っての着地
- 免税売上高は円安の影響もあり、好調に推移

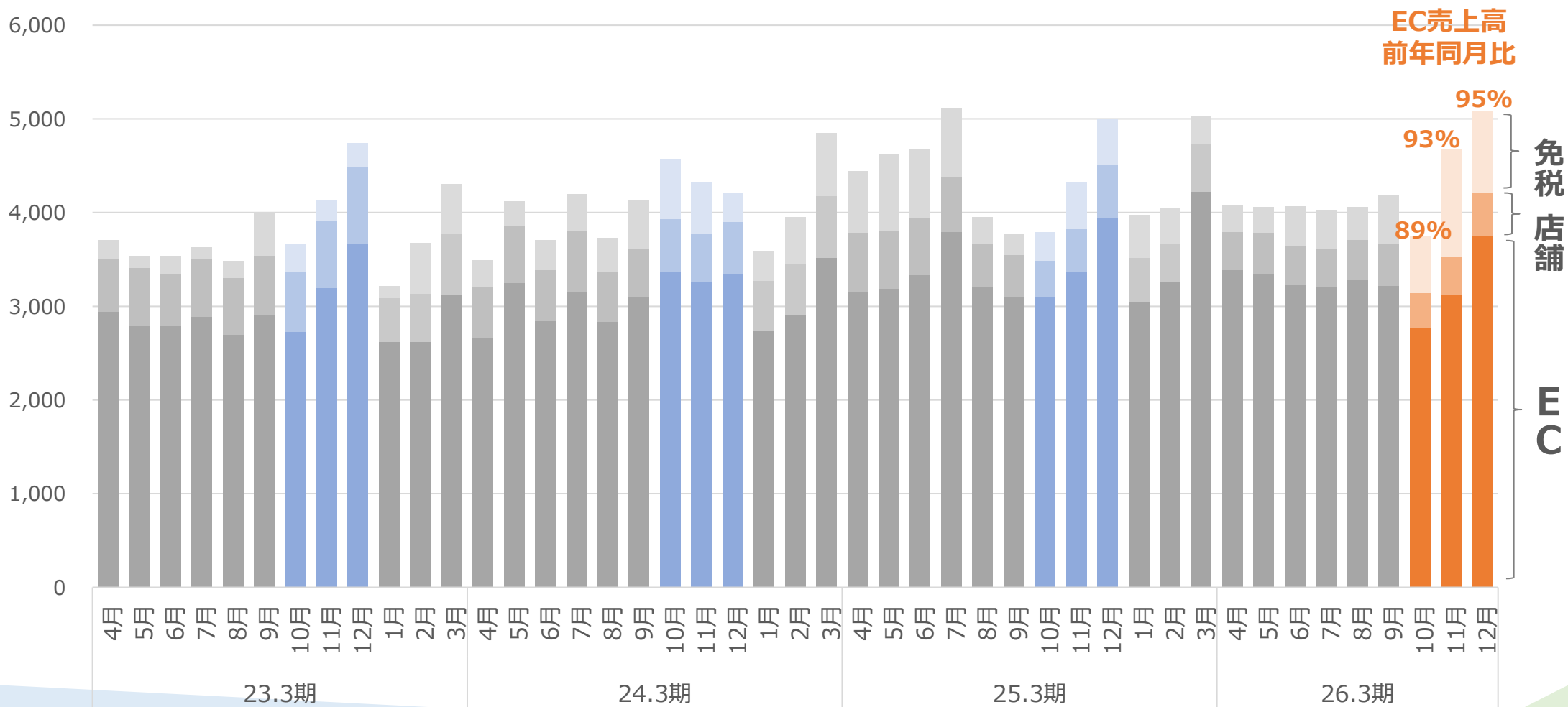


売上高推移（販売チャネル別・月次）



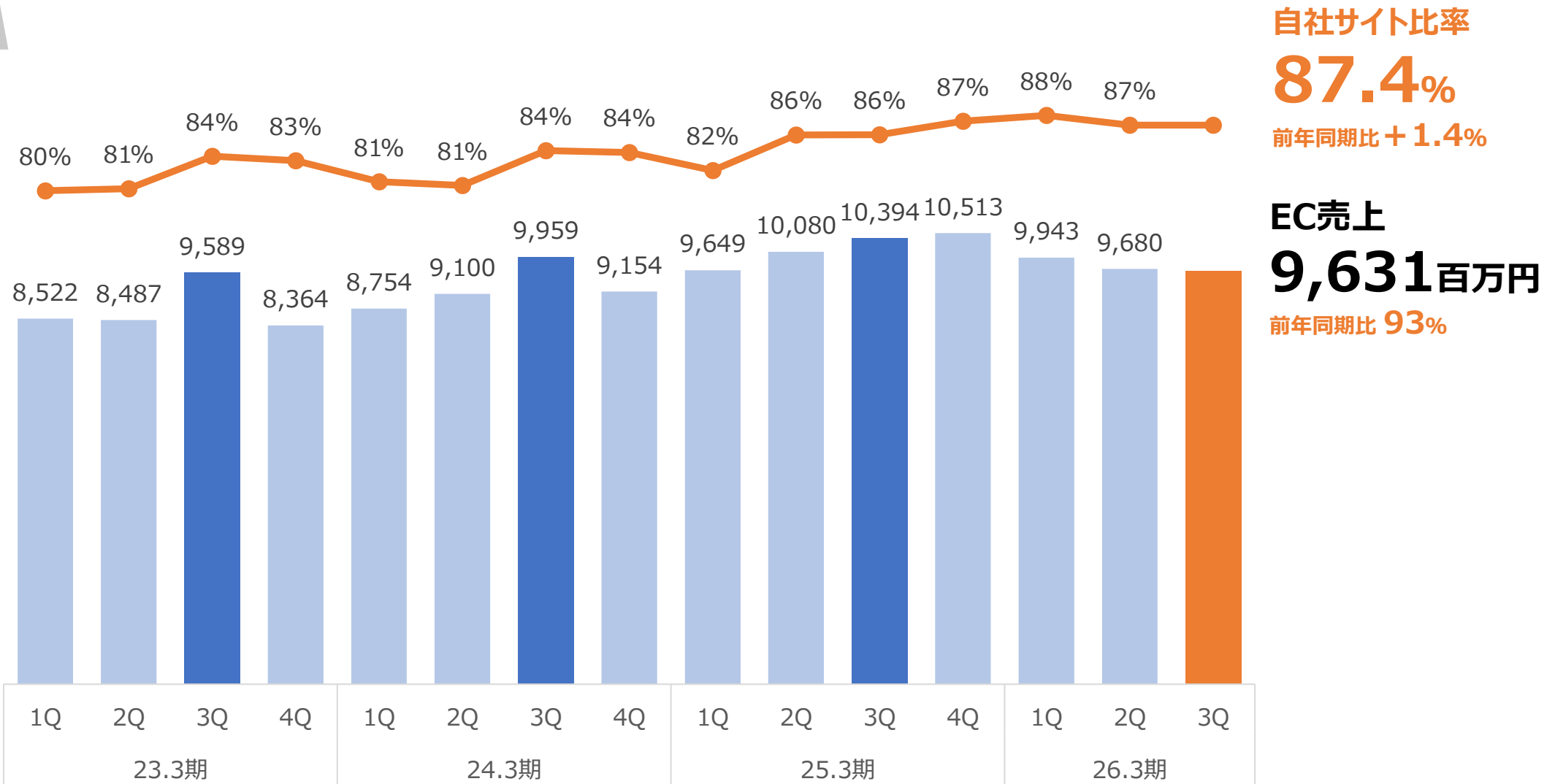
- EC：カメラ事業において、12月は主力の新製品効果もあり大きく伸長
- 店舗：概ね横ばいの傾向が続く
- 免税：円安の影響もあり高水準で推移

(単位：百万円)



売上高推移 (EC)

自社サイト比率は、ポイント施策や動画・ブログコンテンツ強化の効果もあり引き続き順調に推移

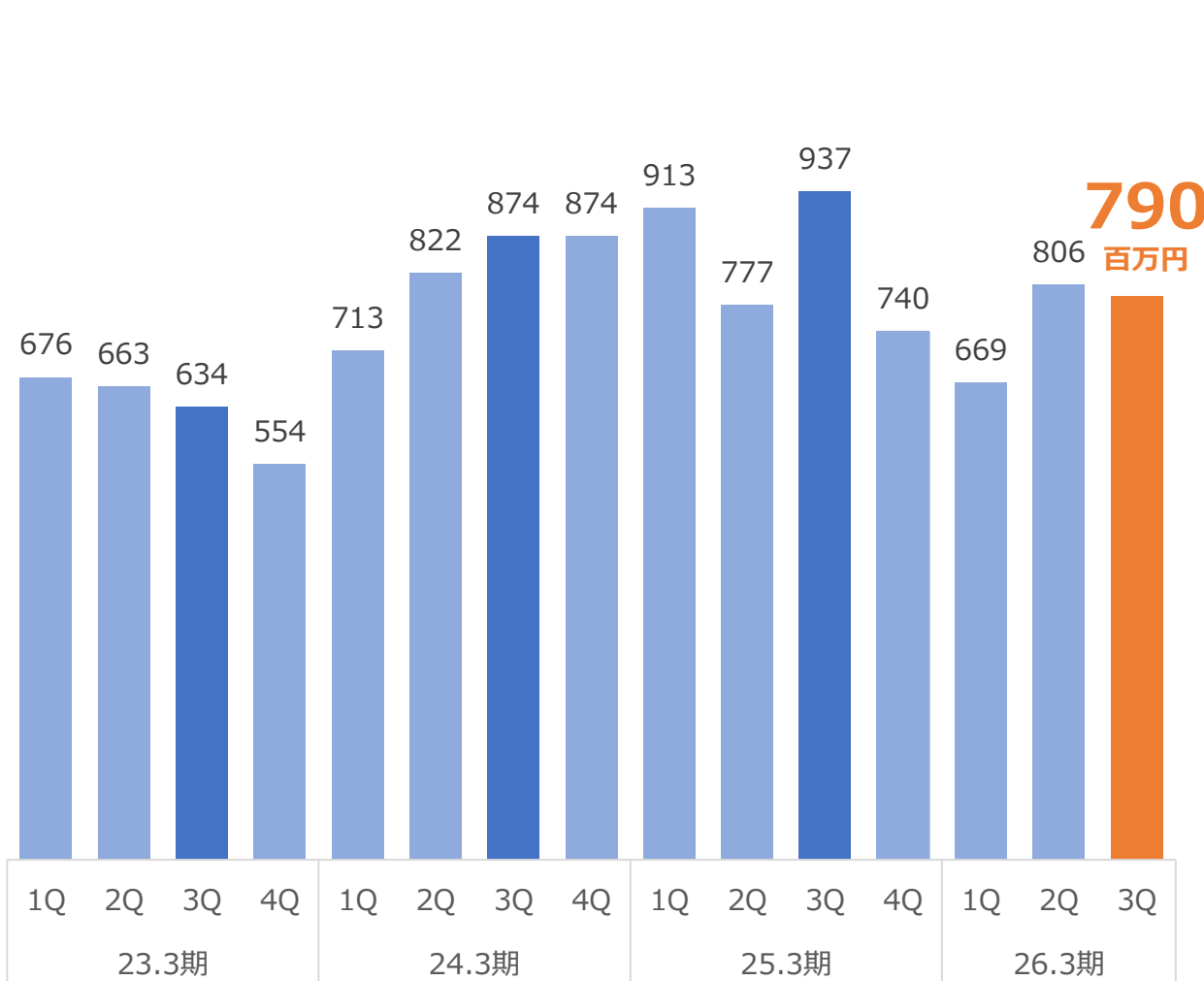


売上高推移（越境EC：海外モール、免税、店舗）

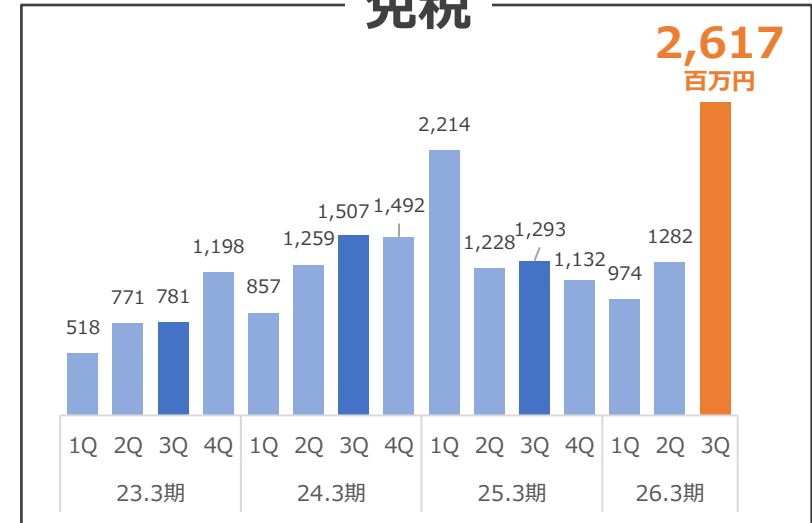


- 越境EC：アメリカの関税政策の影響が一巡し、順調に推移
- 免税：円安の影響もあり大きく伸長

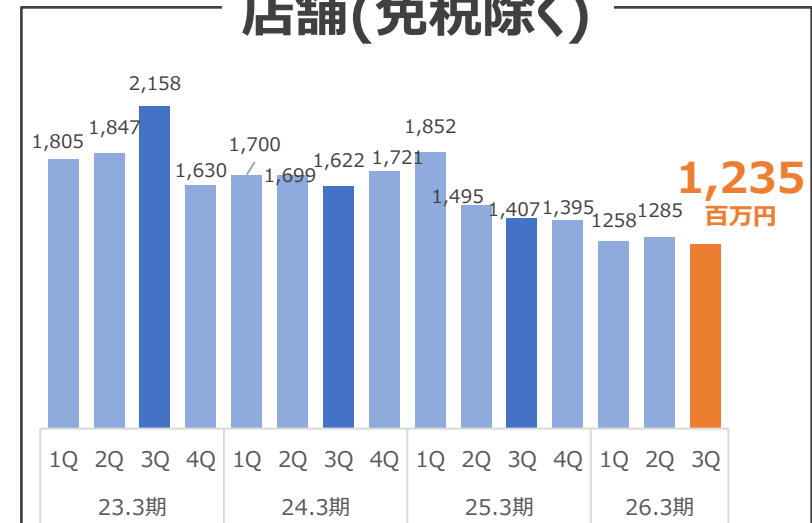
越境EC(海外モール)



免税



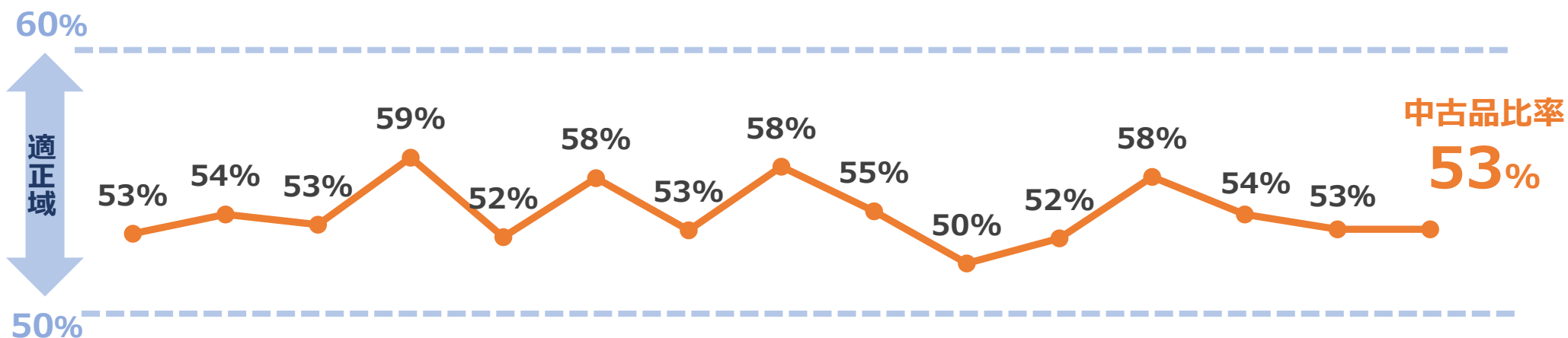
店舗(免税除く)



売上高全体に占める 中古品比率推移



新品・中古の買替サイクルは**引き続き堅調**

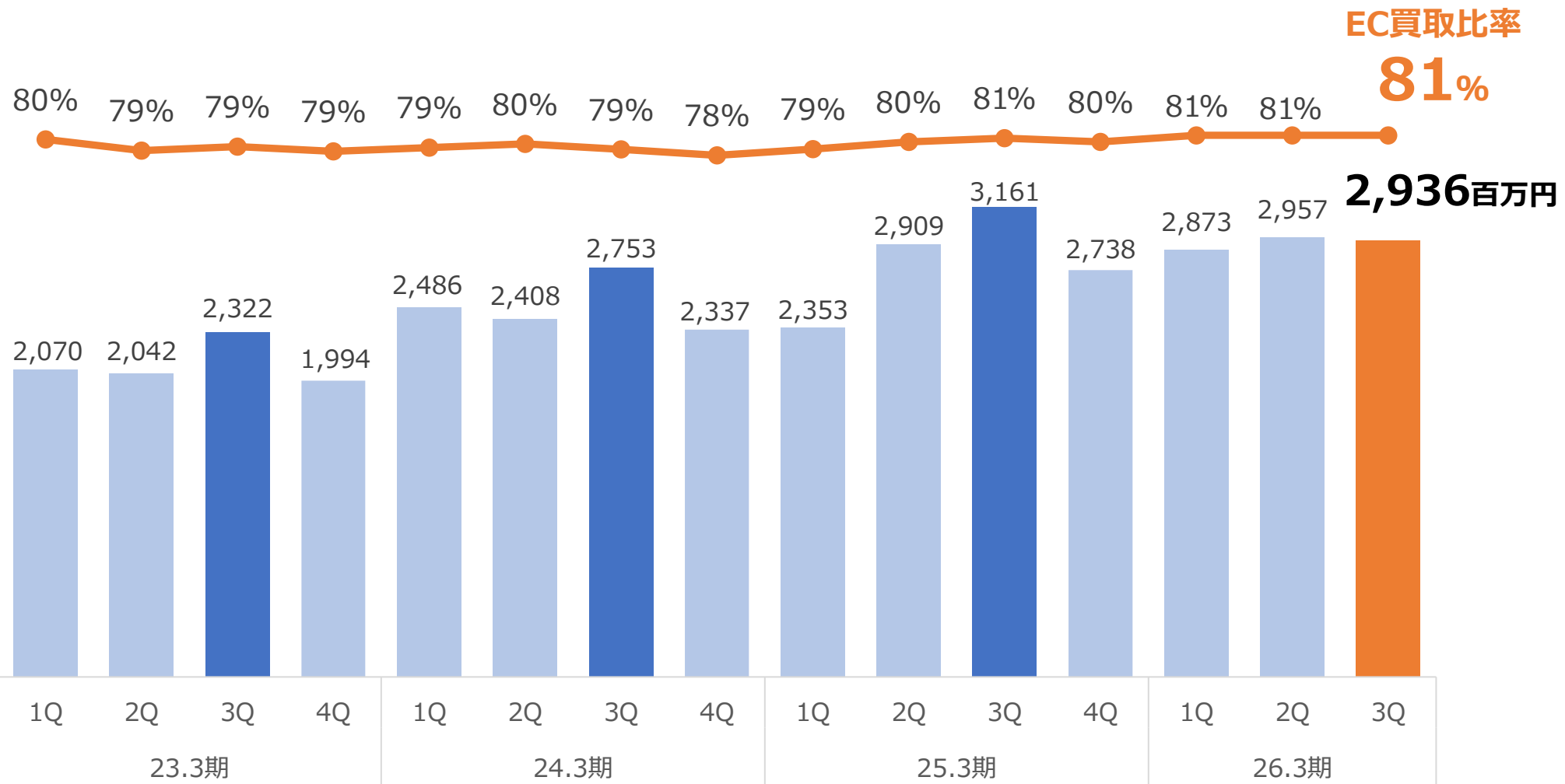


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
23.3期				24.3期				25.3期				26.3期		

カメラ事業 中古EC買取金額推移



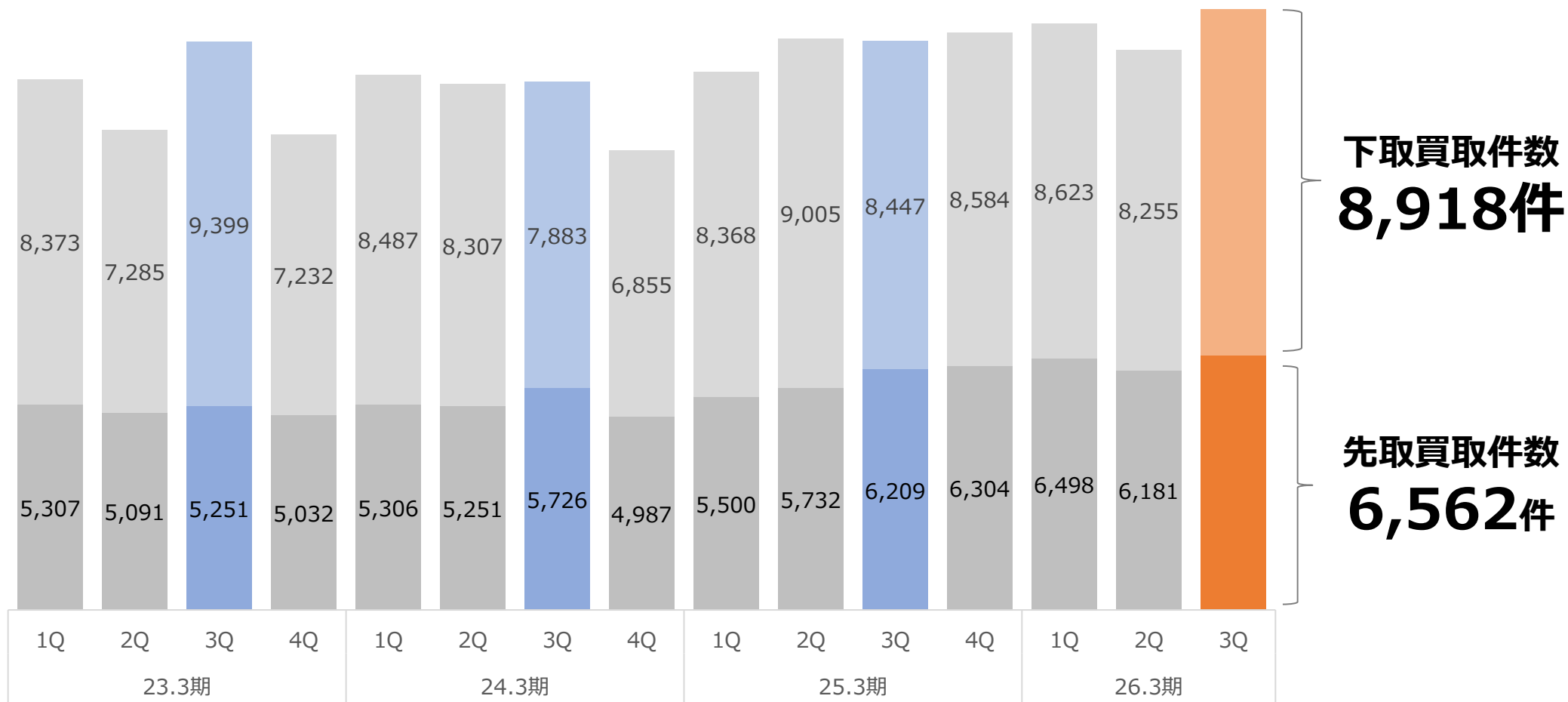
EC買取金額は引き続き堅調に推移



カメラ事業 下取・先取交換件数推移



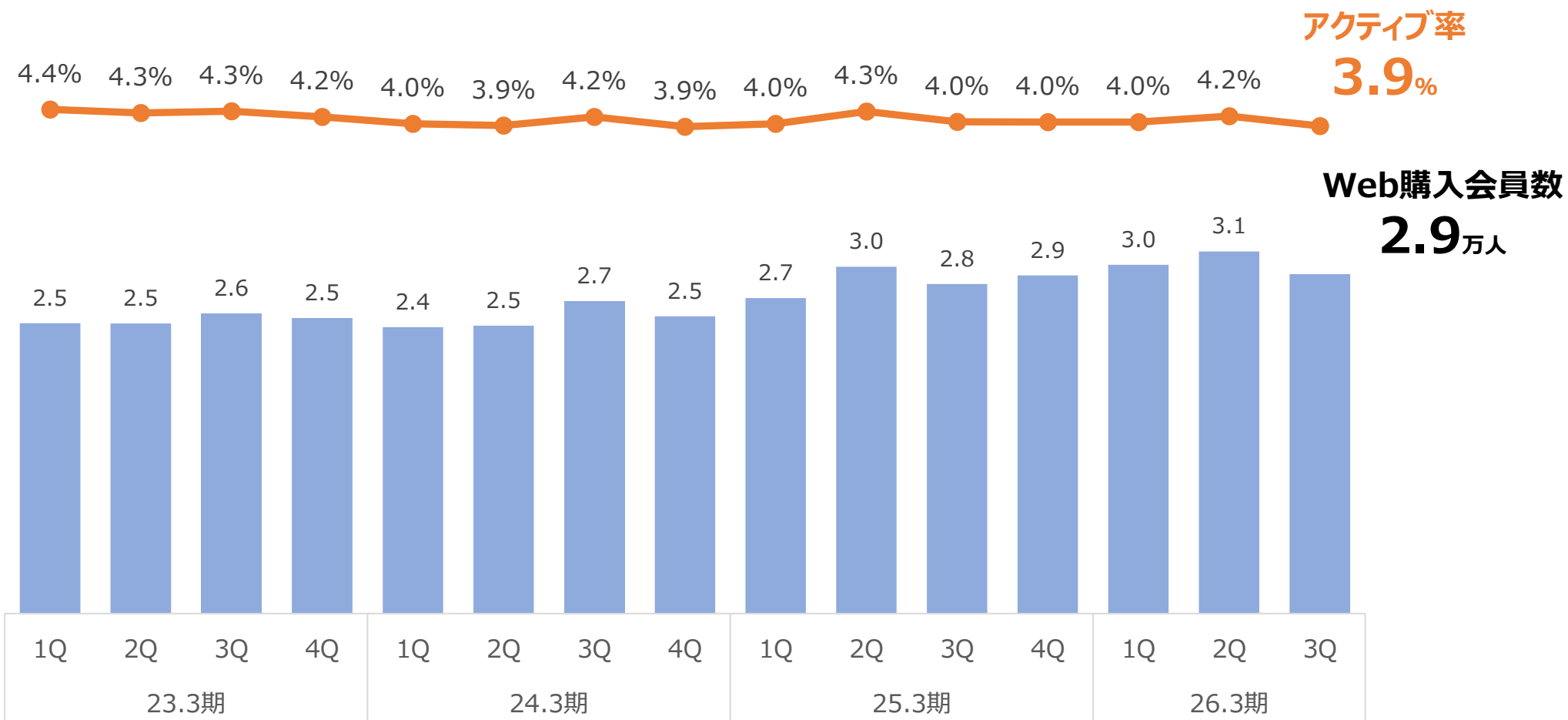
AIMDは順調に稼働しており、下取・先取交換ともに引き続き順調に推移



Web購入会員数とアクティブ率※



新規会員が順調に増加し分母が拡大したことにより、アクティブ率は若干低下したものの、
購入会員数自体は引き続き堅調に推移



※アクティブ率…各四半期はじめのWeb会員数に対するその四半期の自社サイトでの購入会員数（Web会員のモール購入数は含まれない）

Web会員数の推移（四半期）



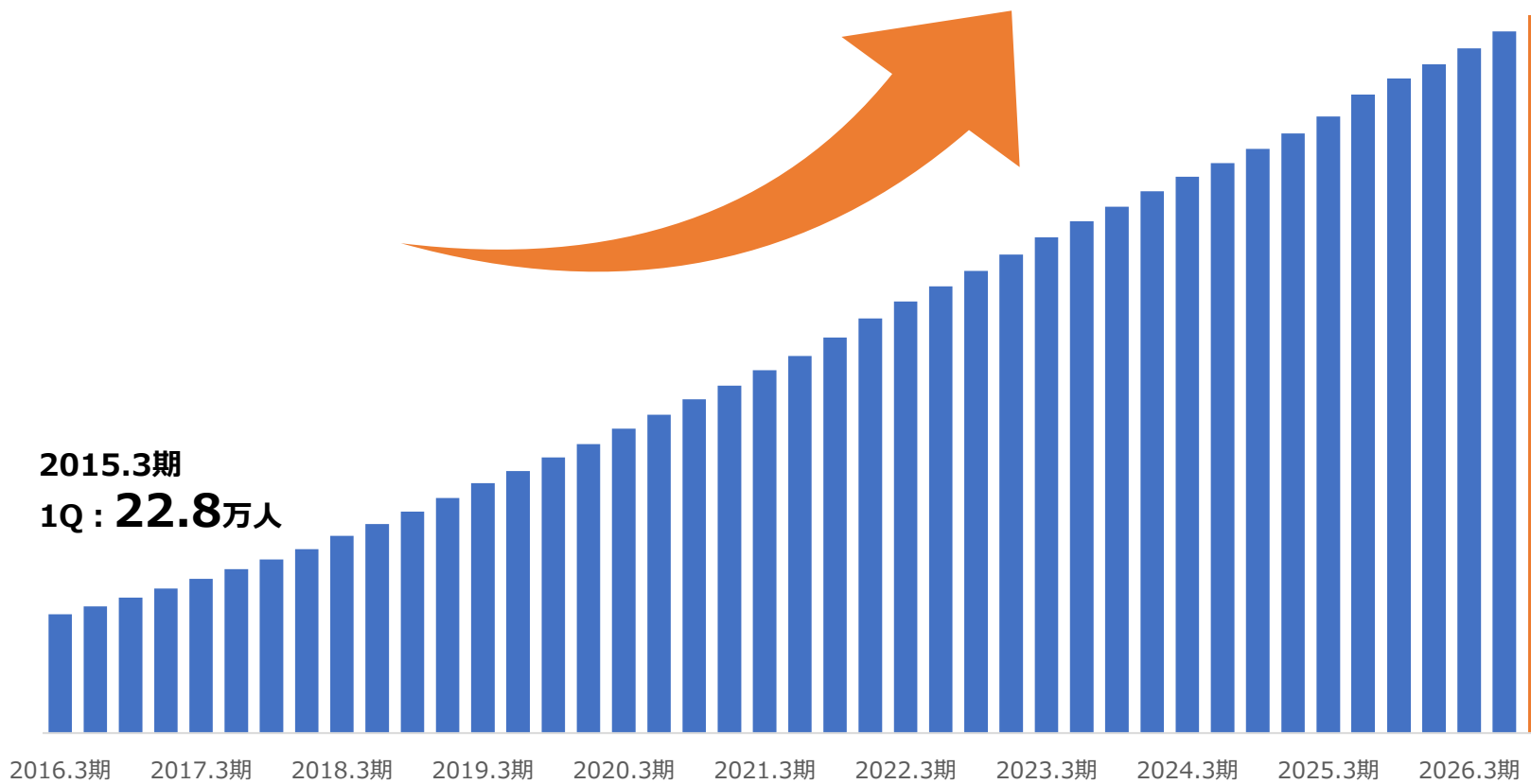
新規会員数は約**4,615人/月増加**を継続し、**77万人**を突破

累計会員登録数
(2025年12月末時点)

77.0万人

2025年10月：4,020人
2025年11月：3,813人
2025年12月：6,014人

2015.3期
1Q：22.8万人

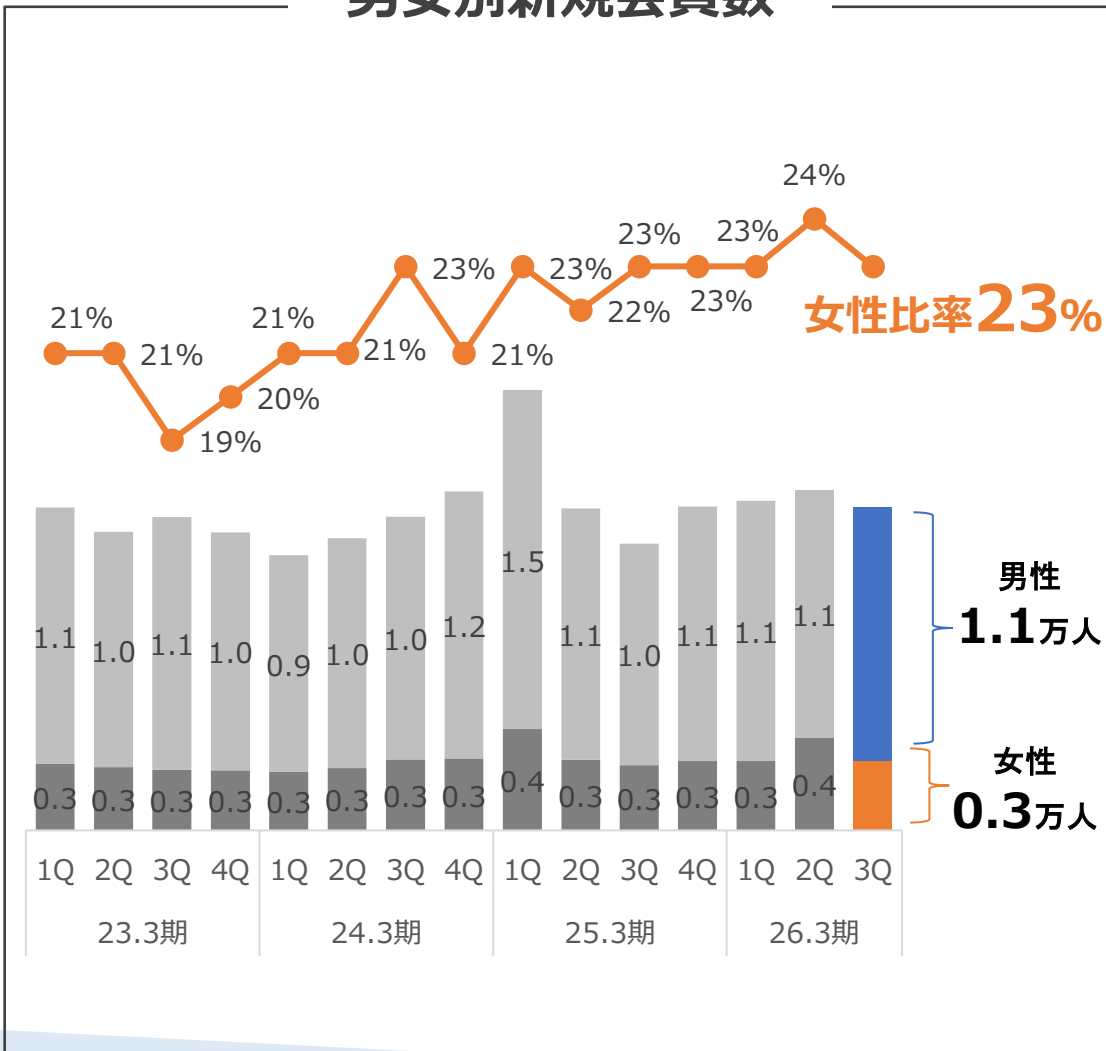


Web会員数の会員属性 年代/性別/エリア別

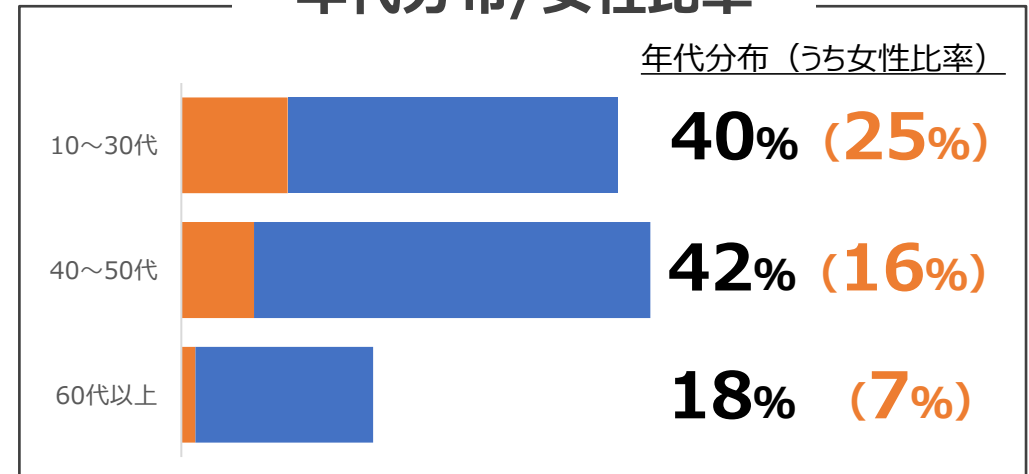


Web会員数の全体母数が増加する中で、**新規女性比率は23%** ※全Web会員の女性比率:17.8%
Instagram、YouTubeなどのSNS普及により、10代～30代の女性比率は約25%に上昇

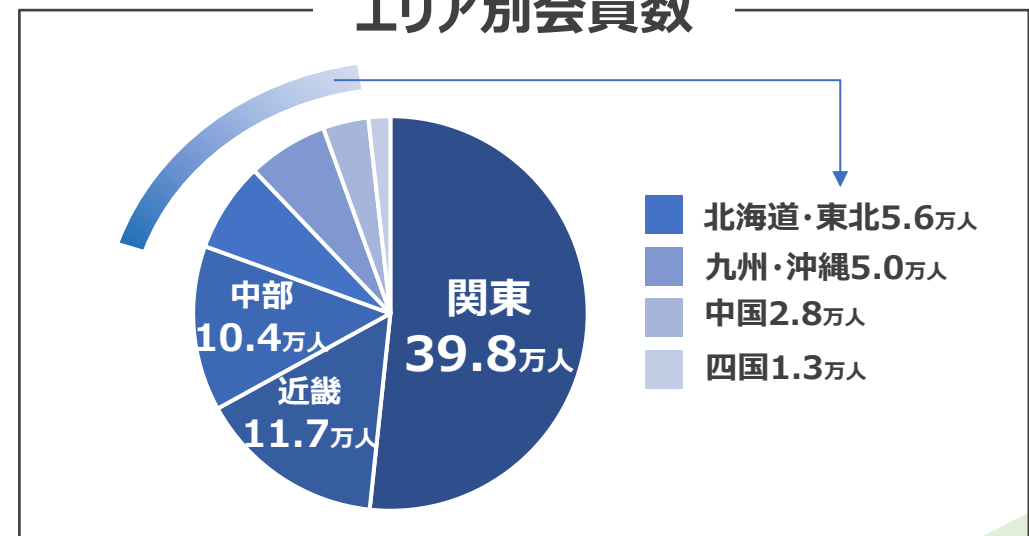
男女別新規会員数



年代分布/女性比率



エリア別会員数



LINE配信数実績

LINE登録者数の増加に加え、AIコンテンツレコメンドの配信頻度も増えたことで、

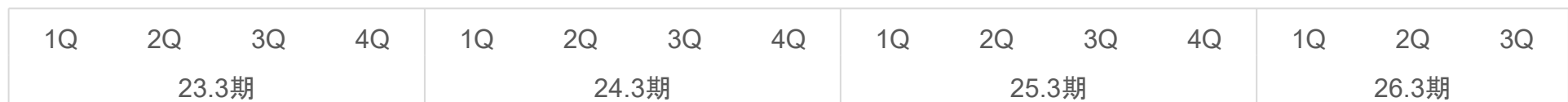
配信数は**30倍に大きく成長** (2023年3月期1Qを起点に算出)

LINE配信
強化実施

LINE配信30倍



メール配信数 2倍



テクノロジーの開発／配信数実績

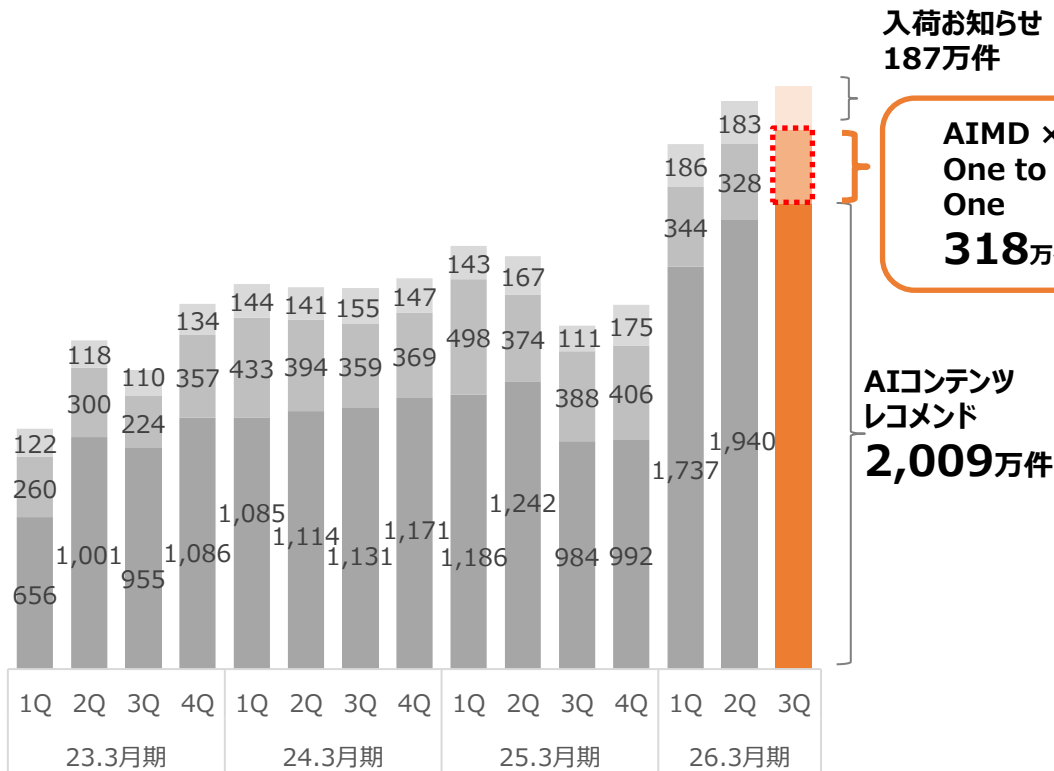


配信数**2,514**万件 = 実店舗に換算すると約**558**店舗※

インターネット上でのコンテンツ拡充を背景に、AIコンテンツレコメンドの配信頻度および登録者数が伸長し、
配信件数は大幅に増加

リクエスト配信件数

計**2,514**万件



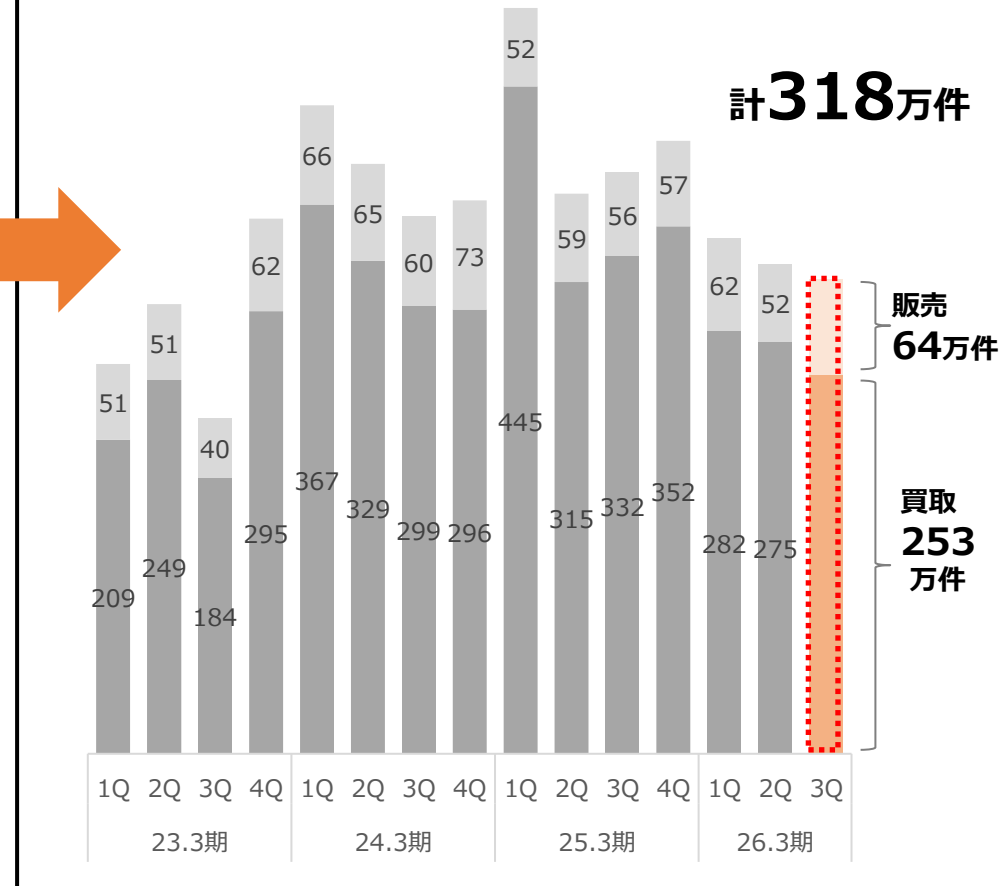
入荷お知らせ
187万件

AIMD ×
One to
One
318万件

AIコンテンツ
レコメンド
2,009万件

AIMD × One to One

計**318**万件



販売
64万件

買取
253
万件

※当社試算：配信数を来店客数に換算した場合

欲しいリストの登録商品数（月次）



新規登録数は月平均約**6.8万件**で引き続き堅調に推移

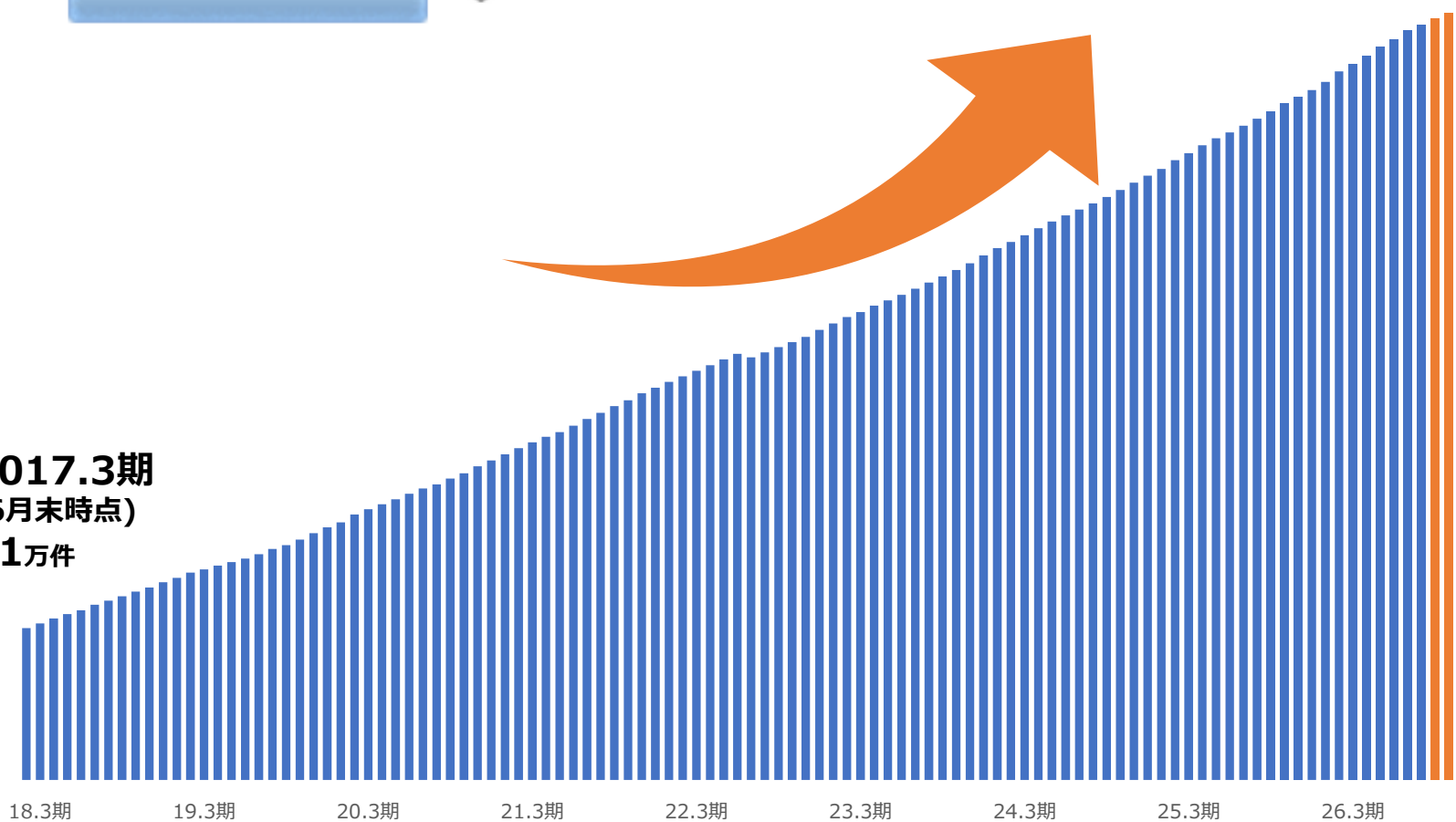
欲しいリスト登録数
(2025年12月末時点)

284万件

欲しいリストに追加



2017.3期
(6月末時点)
41万件



■ 新規登録数

2025年10月：64,674件
2025年11月：66,846件
2025年12月：74,418件

入荷お知らせメール登録数（月次）



新規登録数は月平均約**5,500件**と引き続き堅調に推移

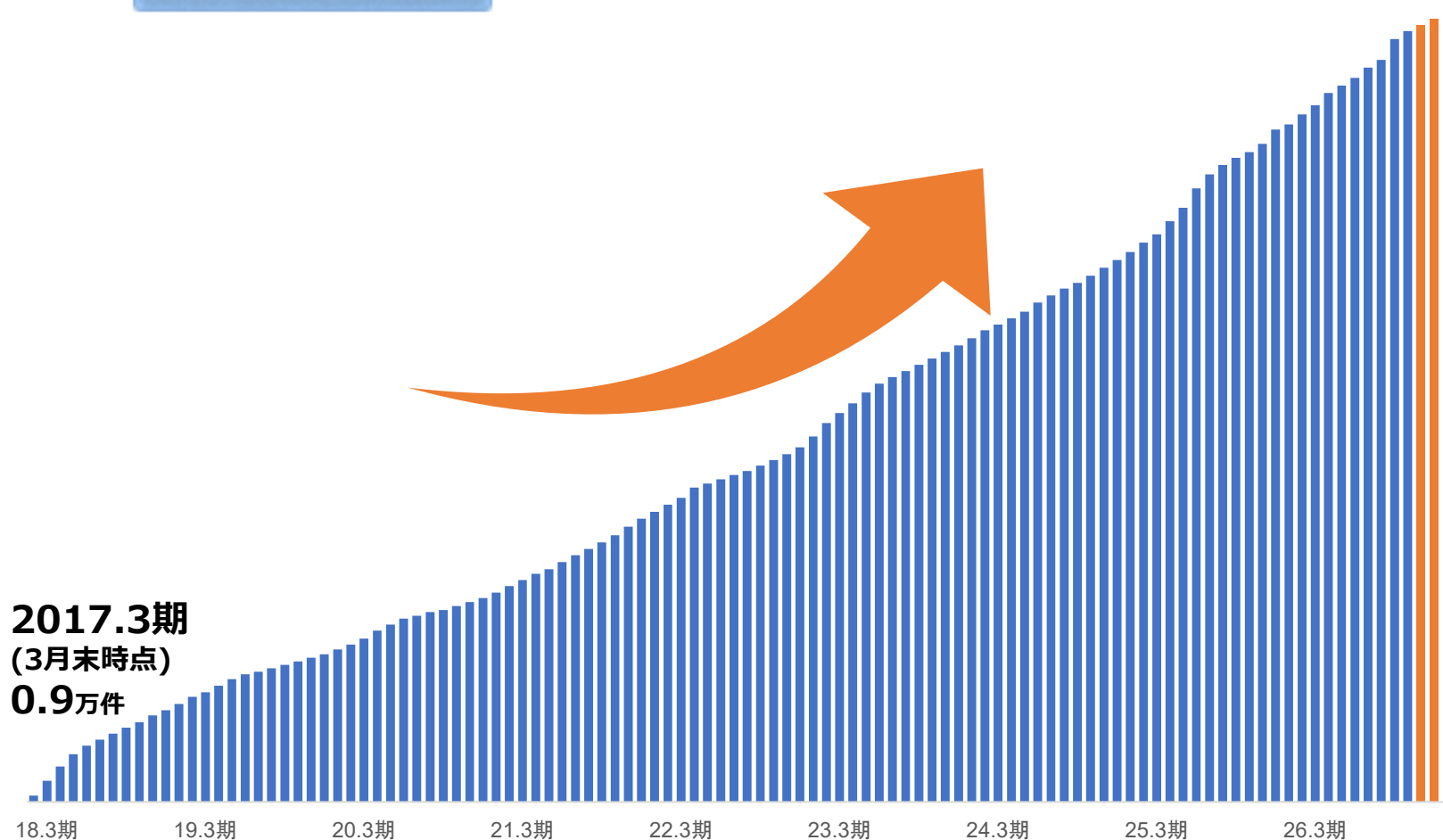
入荷したらお知らせ



入荷お知らせメール 登録数

(2025年12月末時点)

約**20**万件



■ 新規登録数

2025年10月 : 5,293件

2025年11月 : 5,458件

2025年12月 : 5,948件

会社概要



商号	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.
証券コード	3179
代表者	小野 尚彦
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル3階
設立	2005年8月
事業内容	インターネットを利用して、「価値ある大切な新品と中古品」を安心安全にお取引を行う
従業員数	250名（2025年3月末）

沿革	1994年8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業
	2005年8月	当社設立（資本金100,000千円）
	2006年6月	時計買取・販売事業を開始
	2008年4月	筆記具買取・販売事業を開始
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始
	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	2015年12月	東京証券取引所第一部市場に市場変更
	2019年12月	レディース腕時計専門サイトをオープン
	2022年1月	（株）フクイカメラサービスとの資本業務提携
	2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
	2022年11月	「BRILLER」が店舗拡張し、レディースブランドサロンとしてリニューアルオープン
	2024年3月	（株）シグマクシス、（株）シグマクシス・インベストメントと資本業務提携
2025年10月	自転車専門店「CROWN GEARS」閉店	

業績見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。